

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県御所市150番地の3

株式会社鍛冶田工務店奈良本社  
氏 名 執行役員 奈良本社統括兼営業部長  
中野 和也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0745-65-2131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

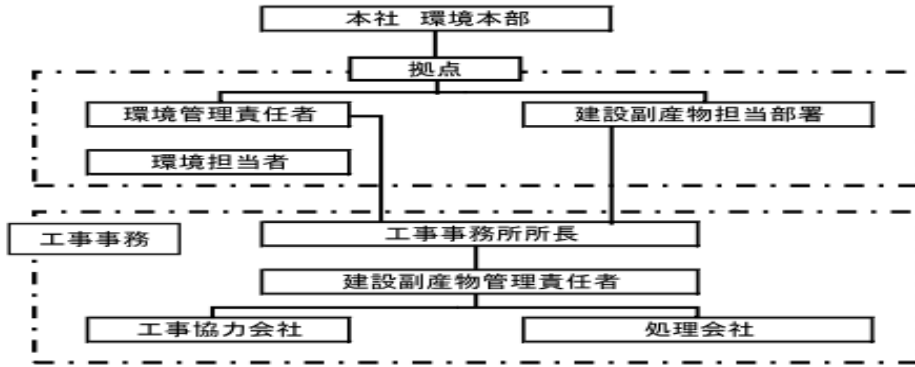
事業場の名称	株式会社鍛冶田工務店奈良本社
事業場の所在地	奈良県管轄区域内
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	完成工事高 29,300,000,000円
③ 従業員数	202名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・汚泥→脱水、乾燥、安定処理、焼成等（再生処理業者に委託） →再生土、管理型埋立</li><li>・木くず→破砕（再生処理業者に委託）→再生資材、管理型埋立</li><li>・ガラス・コンクリート・陶磁器くず→破砕（中間処理業者に委託） →再生資材、安定型埋立</li><li>・がれき類→破砕（再生処理業者に委託）→再生砕石、再生アスファルト、安定型埋立</li><li>・管理型混合廃棄物→分別（中間処理業者に委託）→再資源化、管理型埋立</li></ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)  ・工法の改善 ・梱包材の簡素化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  ・これまで実施してきた取組みの継続及び強化 ・混合廃棄物削減と再資源化率向上の為、分別収集の取組み強化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ・がれき類(コンクリートくず, アスコンくず)と木くずを分別 ・石綿含有産業廃棄物が他に混入しないよう確実に分別と保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ・これまで実施してきた取組みの継続及び強化

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
・工法の改善 ・梱包材の簡素化			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで実施してきた取組みの継続及び強化</li> <li>混合廃棄物削減と再資源化率向上の為、分別収集の取組み強化</li> </ul>			
※事務処理欄			

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(令和4年度)

産業廃棄物の種類	200 汚泥	600 廃プラスチック類	800 木くず	1200 金属くず	1322 廃石膏ボード	1500 がれき類	1501 コンクリートガラ	1052 アスコンガラ	2020 管理型建設混合廃棄物	2200 管理型混合廃棄物	2410 石綿含有廃棄物	2522 水銀使用製品 蛍光灯
排出量	380 t	3.4 t	75.115 t	39.53 t	58.82 t	53.396 t	2,713.74 t	293.318 t	160.42 t	68.938 t	28.55 t	0.036 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	200 汚泥	600 廃プラスチック類	800 木くず	1200 金属くず	1322 廃石膏ボード	1500 がれき類	1501 コンクリートガラ	1052 アスコンガラ	2020 管理型建設混合廃棄物	2200 管理型混合廃棄物	2410 石綿含有廃棄物	2522 水銀使用製品 蛍光灯
排出量	300 t	3 t	70 t	30 t	50 t	50 t	2,000 t	200 t	150 t	60 t	20 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(令和5年度)

産業廃棄物の種類	200 汚泥	600 廃プラスチック類	800 木くず	1200 金属くず	1322 廃石膏ボード	1500 がれき類	1501 コンクリートガラ	1052 アスコンガラ	2020 管理型建設混合廃棄物	2200 管理型混合廃棄物	2410 石綿含有廃棄物	2522 水銀使用製品 蛍光灯
排出量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0 t	0 t	0 t	0 t









